保管用

よくお読みください

取扱説明書

バステレビ(10.4型)

GK9AHX1000



※画面ははめ込み合成です。

このたびは、“バステレビ”をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

■ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しく使用してください。
特に「安全上のご注意」(2〜3ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。

■この説明書は必ず保管してください。

松下電工株式会社
松下電工バス&ライフ株式会社

安全上のご注意

この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結び付くものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

【表示マークの説明】

※誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示マークで区分し、説明しています。

 **警告**　この表示は「人が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意**　この表示は「人が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

【絵表示の説明】

※お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



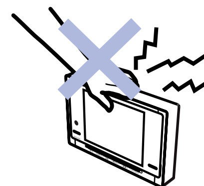
 この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。
（左図の場合は分解禁止が描かれています。）



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保管してください。
※転居される場合は、新しく入居される方が商品を安全にお使いいただくために、この取扱説明書を新しく入居される方、または取り次ぎされる方にお渡しください。

⚠警告

 分解禁止	●**テレビ本体・電源ボックスの分解・改造・位置変更は行なわない。** （内部回路には高圧回路ブロックがあり、火災・感電・水もれの原因となります。）
 禁　止	●**テレビ本体に体重をかけたりしない。** （ケガ・破損・故障の原因となります。） ●**液晶パネルが破損して内部の液体がもれた場合、その液体を口にしない。** （人体に害を与える原因となります。手などに付着した場合は石けんなどでよく洗い落としてください。） 
 必ず守る	●**テレビ本体が破損した場合、すぐに使用を中止する。** （防水機能が破壊されますので、使用を中止しないと火災・感電・故障の原因となります。） ●**テレビ本体から煙や異臭が発生した場合、ブレーカーをおとし、すぐに使用を中止する。** （使用を中止しないと、火災・故障の原因となります。）

⚠注意



- **ケースが割れた、画面が映らないなどこわれたままで使用しない。**
  （感電や火災、事故のおそれがあります。）

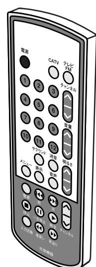
使用上のご注意

- **故意に水をかけないでください。**
  （スピーカー穴に水が溜まり音が小さくなったり、画面に水あかがついたりします。水がかかった場合は早めにふき取ってください。）
- **スイッチは軽く指で操作してください。**
  （先のとがったもので操作したり、衝撃をあたえると故障の原因となります。）
- **シャンプーなどがついたら、軽く絞った布で拭き、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。**
  （そのまま放置すると変色、故障の原因となります。）
- **使用温度範囲内で使用してください。**
  （使用温度（0～50℃）をこえた範囲での使用は、故障の原因となります。）
- **画面を強く押さないでください。**
  （画面にムラが出たり、液晶パネル故障の原因となります。）
- **スピーカー部に物を差し込まないでください。**
  （防水機能がこわれ、故障の原因となります。）
- **リモコンはテレビ本体の受光部に向けて操作してください。**
  （リモコンの信号がテレビに届かず、操作できないことがあります。）
- **リモコンは浴槽に浮かべたり沈めたりしないでください。**
  （故障の原因となります。）
- **リモコンの電池交換は水滴をよく拭き取ってから行ない、電池ふたは確実にしめてください。**
  （水が中に入ると故障の原因となります。）
- **リモコンは落とさないでください。**
  （故障の原因となります。）
- **リモコンホルダーは日の当たらない所に取り付けてください。**
  （変色などの原因となります。）
- **リモコンを使用しない時は、リモコンホルダーに収納してください。**
  （他の場所に置いて、落としたり、水中に沈めたりすると、故障の原因となります。）

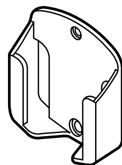
付属品の確認

●最初に付属品を確認してください。

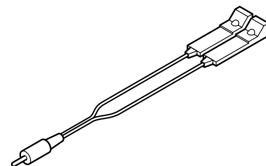
リモコン：1個



リモコンホルダー：1個

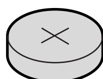


外部機器コントローラー



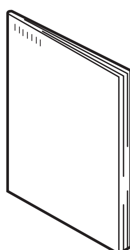
両面テープ：2枚

ボタン型電池：1個（リモコン用）



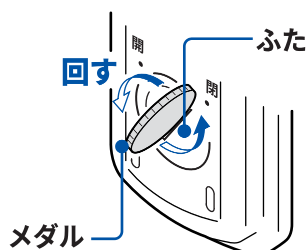
電池番号：CR2032

取扱説明書（本書）

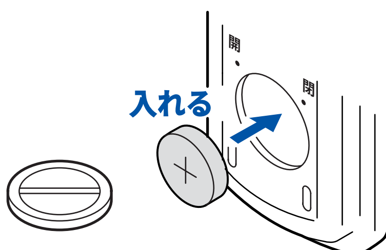


リモコン用電池の入れ方

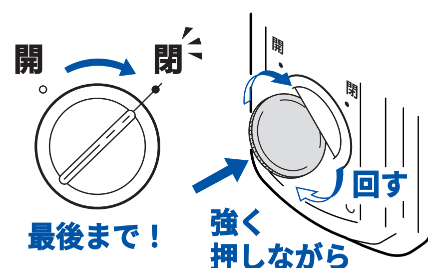
1 電池ふたを回してあける
（メダルなどを使用してください）



2 電池を入れる
（プラス ⊕ を上に！）



3 電池ふたを強く押しながら回し最後まで閉める



安全上のご注意

⚠注意



- **電池に表示してある注意内容を必ず守る。**
- **電池は ⊕ ⊖ 極を確かめ、正しく入れる。**
- **使い切った電池は、すぐに取り出す。**
- **長時間使用しないときは、電池を取り出しておく。**
- **使用推奨期限内の電池を使用する。**

（電池の発熱、破裂、液漏れによるけがや周囲汚損の原因となります。）

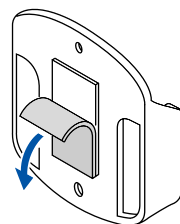
使用上のご注意

- リモコンの電池交換は水滴をよく拭き取ってから行ない、電池ふたは確実にしめてください。
（水が中に入ると故障の原因となります。）

リモコンホルダーの取り付け

1 取り付け面の汚れや水滴をよく拭き取る

2 裏の両面テープハクリ紙をはがす

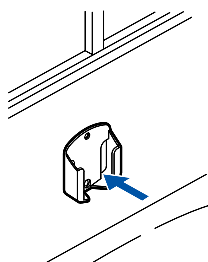


3 お好みの位置に貼り付ける

※リモコンが出し入れしやすい位置に貼り付けてください。
※直射日光の当たらない位置に貼り付けてください。
※必ず壁に貼り付けてください。
※壁のつなぎ部分には貼り付けないでください。
※気温が低いときは、両面テープをドライヤーなどであたためてから貼り付けてください。

4 上から強く押して確実に貼り付け、しばらく放置する

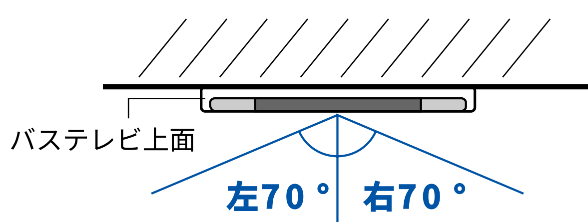
※ねじでの固定は必要ありません。



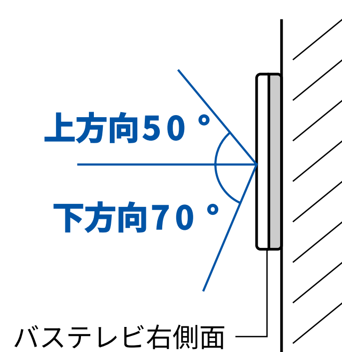
おしらせ

- バステレビの液晶画面の視野角（良く見える範囲）はおよそ左右方向に70°、下方向に70°、上方向に50°になっています。

本体を上から見た場合

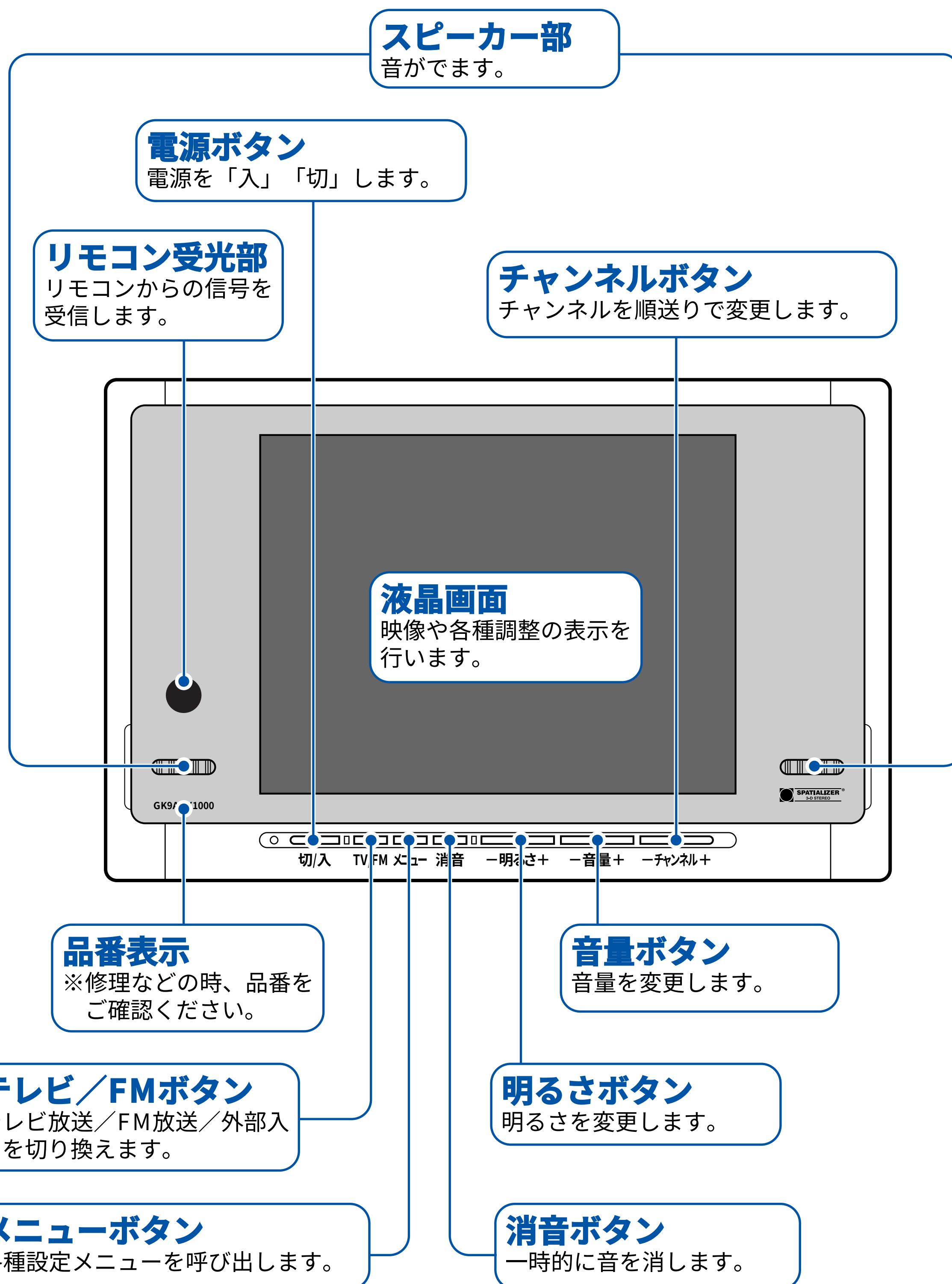


本体を横から見た場合



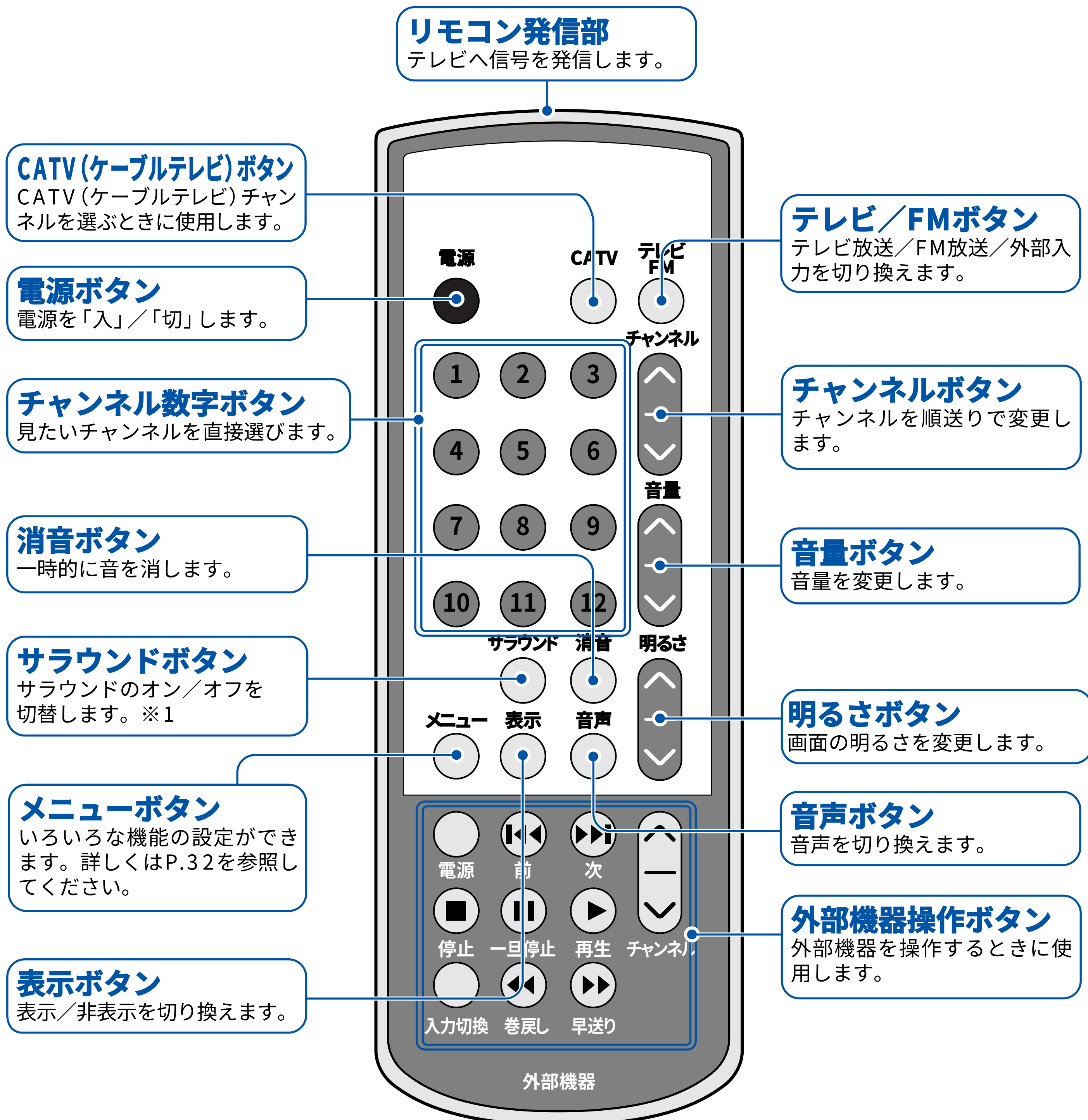
各部のなまえとはたらき

テレビ本体



リモコン

リモコンはテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
リモコンの向きが悪かったり送信部/受光部が汚れている場合はうまく作動しないことがあります。



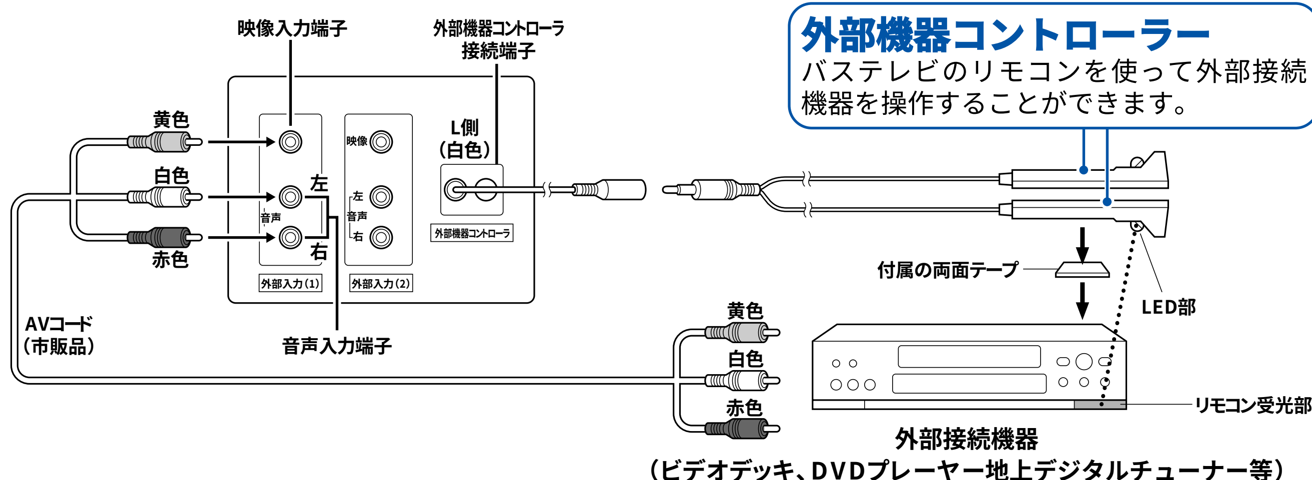
※1 サラウンドをONにするとスペシャライザー*3Dステレオ回路内蔵により臨場感あふれるサラウンド効果が楽しめます。
オプションのバスオーディオ用スピーカーと接続されている場合、バステレビ音声のサラウンド機能には対応しておりません。
*スペシャライザーはデスパー・プロダクツ社とのライセンス契約に基づき製造されております。
Spatializer®およびシンボルマークはデスパー・プロダクツ社の登録商標です。

各部のなまえとはたらき

外部機器コントローラー

※バステレビ外部接続ケーブルセット（オプション）使用例です。

外部機器や外部機器コントローラーをお使いになる時は、あらかじめ外部接続のための先行配線工事が必要です。



外部機器・外部機器コントローラーの接続

外部機器をお使いになる場合、AVコード（市販）を使用して、各端子と外部機器を接続してください。
また、外部機器コントローラーはミニピンジャックの延長コードで延長可能です。
※バスルーム天井設置の電源・チューナーボックスから、外部機器までの配線長さは12m以内になるように、コードを選択してください。

1 外部機器コントローラーの丸いLED部を、外部接続機器のリモコン受光部に向けて設置し、付属の両面テープで固定する。

2 AVコードを使用して、壁面のAV用信号コンセントの外部入力1または外部入力2と外部接続機器の映像・音声出力を接続する。

※番号はテレビ/FMボタンで切り換え時表示される外部1・外部2と対応しています。

3 外部機器コントローラーの端子を、外部機器コントロール用接続ケーブル（オプションのバステレビ外部接続ケーブルセットに付属）を用いて、壁面コンセントの外部機器コントロール端子に接続する。

※オーディオコンポやラジカセなど、アンプが搭載されている外部音源機器を接続しますと、バステレビ側のボリュームを絞っても音量が大きく感じられる場合があります。その場合は、抵抗入りのケーブルを一般家電量販店などでお求めの上、接続してください。（松下電器産業（株）扱い　RP-CA59Aなどを推奨）

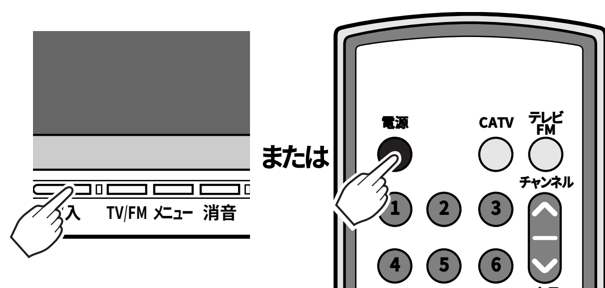
おしらせ

- ご使用になる外部機器によっては、バステレビのリモコンでは操作できない製品や、特定のボタンが使用できない製品があります。
- 初期設定が必要な外部機器をご使用になる場合は、あらかじめ外部機器付属のリモコンで設定を行なってください。
- DVDの中には、最初にメニュー画面が出るディスクがあります。このようなディスクをご使用になる場合にはバステレビのリモコンでは操作できない場合がありますので、入浴前に使用するDVDプレイヤーの付属リモコンで設定してください。
- リモコンコード設定時に外部機器付属のリモコンをお使いになる場合、浴室内が乾燥した状態でお使いください。（外部機器付属のリモコンは、防水でない場合があります。）

表示画面の切り換え

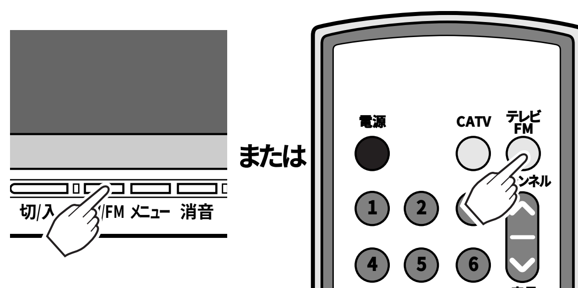
1 電源を入れる

押すたびに電源を「入」・「切」します。



2 テレビ/FMボタンを押す

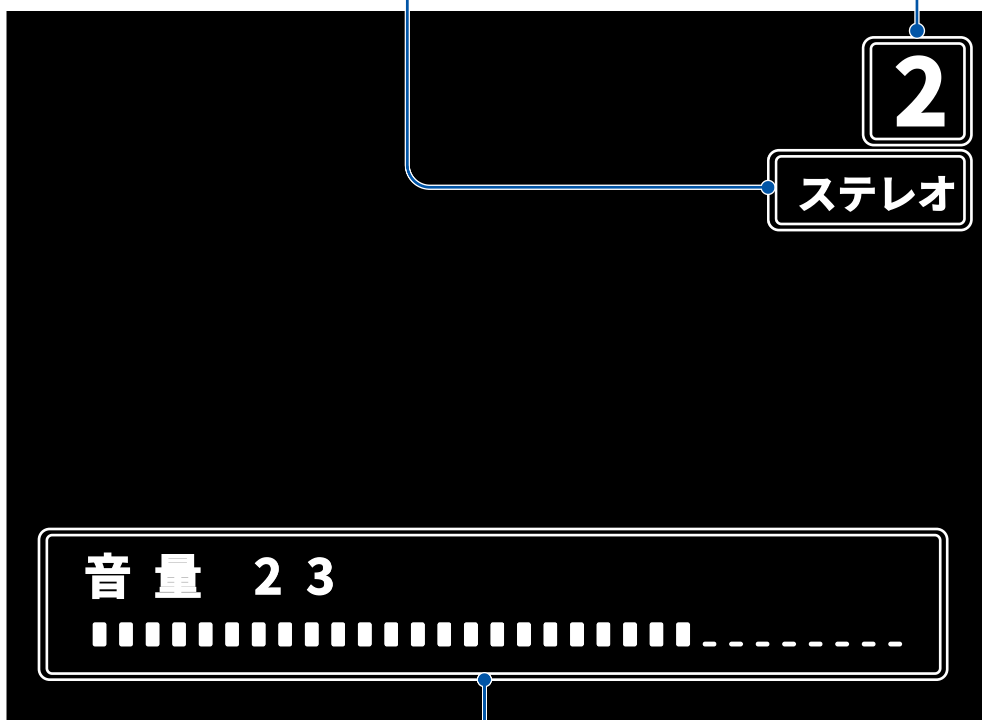
押すたびに「テレビ」「FM放送」「外部1」「外部2」に切り換わります。



テレビ画面（基本）

音声表示
受信した音声種類を表示します。

チャンネル表示
・チャンネル番号を表示します。
・表示/非表示の設定ができます。



音量表示
音量をバーと数値で表示します。

おしらせ

● メニュー画面などでは、各種項目を表示します。

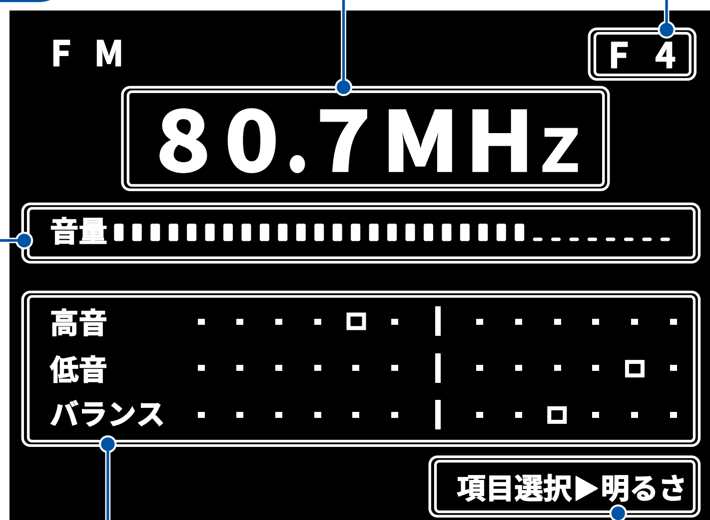
各部のなまえとはたらき

ＦＭ画面

音量表示
音量をバーで表示します。

受信周波数表示
受信中の周波数を表示します。

チャンネル表示
チャンネル番号を表示します。



音質表示
高音/低音/バランスを表示します。
※選択した項目は緑色で表示されます。

操作ボタン表示
どのボタンを操作するのか表示します。

外部入力画面（基本）

●外部機器をお使いになる場合、機能設定の外部入力がオンになっていることをご確認ください。
機能設定については、→P.30をご覧ください。

チャンネル表示
・チャンネル番号を表示します。
・表示／非表示の設定ができます。



音量表示
音量をバーと数値で表示します。

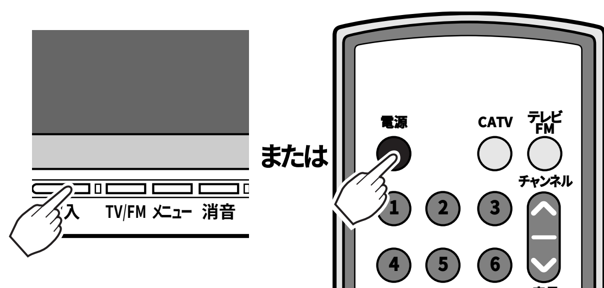
テレビをみる

●誤った使い方は事故や故障の原因になります。注意事項をお読みいただき正しくお使いください。
●受信チャンネルの設定については、→P.20をご覧ください。

テレビをみる

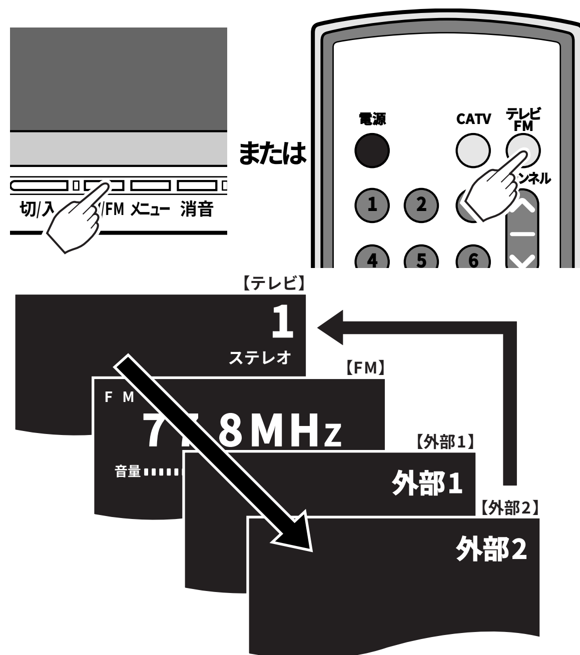
1 電源を入れる

押すたびに電源を「入」・「切」します。



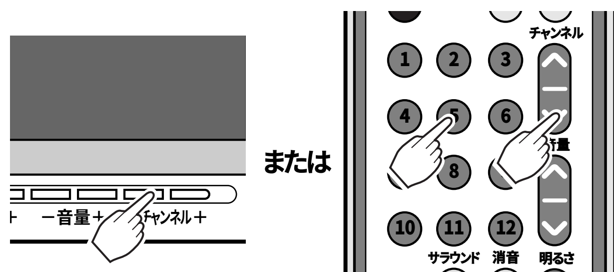
2 テレビ/FMボタンを押し、「テレビ」を選ぶ

押すたびに「テレビ」「FM放送」「外部1」「外部2」に切り換わります。テレビ画面のときは必要ありません。



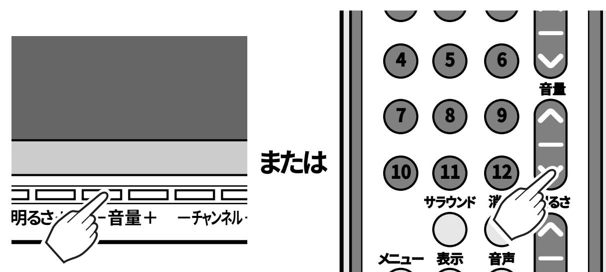
3 チャンネルを選ぶ

「チャンネル＋/－」ボタンは順送りでチャンネルを選べます。
リモコンの「①～⑫」は直接チャンネルを選べます



4 音量を調整する

「＋」を押すと大きく、「－」を押すと小さくなります。画面に数字とバーで音量が表示されます。
※約4秒間操作なしで画面表示が消えます。



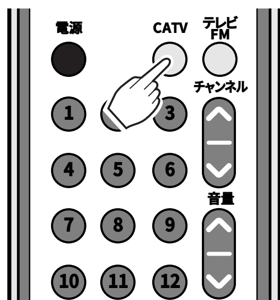


テレビをみる

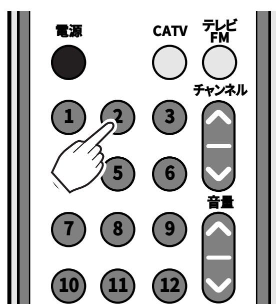
※CATV（ケーブルテレビ）チャンネルを選ぶ（リモコンのみ）

リモコンからの操作のみCATV（ケーブルテレビ）チャンネルを直接選ぶことができます。
〈例〉ケーブルテレビ20チャンネルを選ぶとき

1 「CATV(ケーブルテレビ)」ボタンを押す

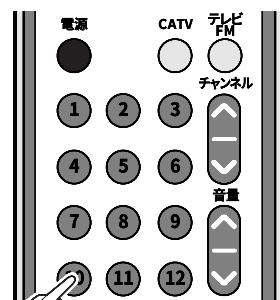


2 「2」を押す



3 「10/0」を押す

※「10/0」は0となります



使い方｜テレビをみる

おしらせ

- チャンネル＋/−ボタンでは受信設定していないチャンネルはスキップします。
- リモコンの①〜⑫ボタンで受信設定していないチャンネルを選択した場合は、「このチャンネルは設定されていません。」の表示がでます。
- 13以上のチャンネル番号を設定した場合はチャンネル＋/−ボタンで選んでください。
- 電源を切ってもチャンネルや音量などは記憶しています。
- テレビの音量/音質とFMの音量/音質は個別に設定可能です。それぞれお好みに合わせて調整してください。
- バステレビのリモコンはバステレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。リモコンの向きが悪かったり発信部/受光部が汚れている場合には、うまく作動しないことがあります。
- リモコンから選べるケーブルテレビチャンネルはC13〜C63です。「10/0」は0となり、関係する数字以外は操作無効となります。約4秒間操作なしで通常画面になります。
- オプションのケーブルでバスオーディオと接続されている場合、その出力は音量調整の操作に関係なく一定です。また、サラウンド機能には対応しておりません。

安全上のご注意

⚠注意



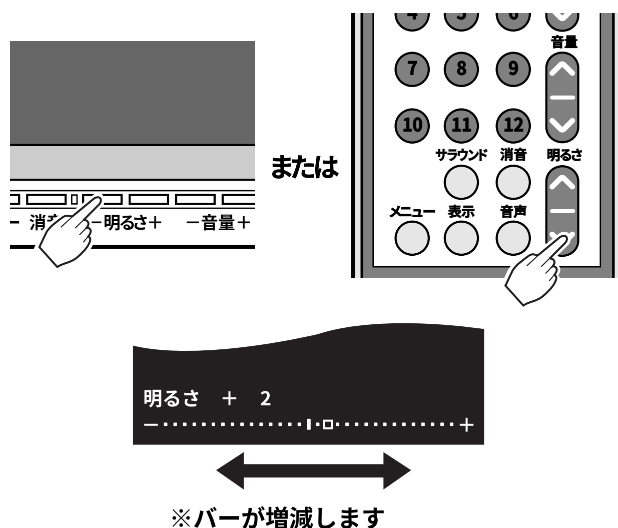
- **テレビからFMに切り換えた時、それぞれの設定については音量や音質が急激に変化する場合がありますのでご注意ください。**
  （切り換えた時に突然大きな音が鳴り、聴覚を害する原因となります。）

明るさを調整する

室内の明るさなどにあわせて画面の明るさが調整できます。

1 明るさボタンを押す

「＋」を押すと明るく、「－」を押すと暗くなります。画面に数字とバーで明るさが表示されます。約4秒間操作なしで画面表示が消えます。

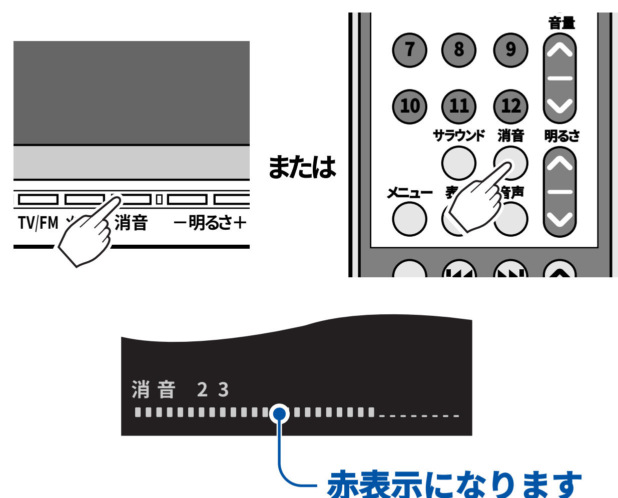


一時的に音を消す（消音）

一時的に音を消すことができます。
※オプションのケーブルでバスオーディオと接続されている場合には、その出力も一時的に消えます。

1 消音ボタンを押す

画面に赤字で音量とバーが表示されます。4秒間操作なしで「消音」と音量の数値のみ表示されます。もう一度押すか音量ボタンを押すと音がでて約4秒後に表示が消えます。



使い方 テレビをみる

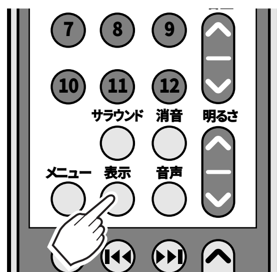
テレビをみる

チャンネル表示を切り換える

チャンネル表示の表示/非表示を切り換えることができます。ここではリモコンでの操作をご説明しますが、メニューボタンからも操作できます。その場合は→P.30をご覧ください。

1 表示ボタンを押す（リモコンのみ）

各状態から押すたびに画面右上に大きくチャンネル表示がでて、約4秒後に反対の状態に切り換わります。





右上に常時小さく
チャンネル番号が表示されます。

音声を切り換える

チャンネル表示の表示/非表示を切り換えることができます。ここではリモコンでの操作をご説明しますが、メニューボタンからも操作できます。その場合は→P.30をご覧ください。

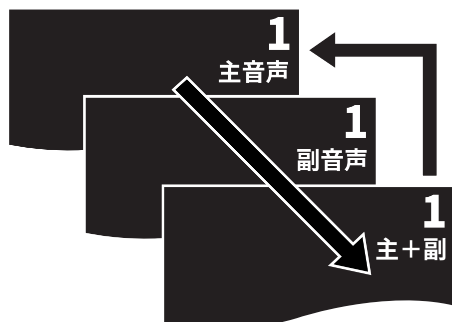
1 音声ボタンを押す（リモコンのみ）

押すたびに下表のように切換わります。

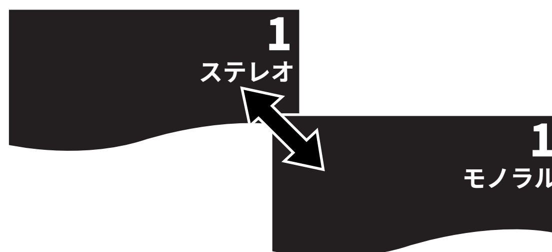
モノラル放送時	切り換えなし
ステレオ放送時	ステレオ⇔モノラル
音声多重放送時	→ 主音声 → 副音声 → 主＋副音声 ┐（先頭に戻る）



【音声多重放送の場合】



【ステレオ放送の場合】

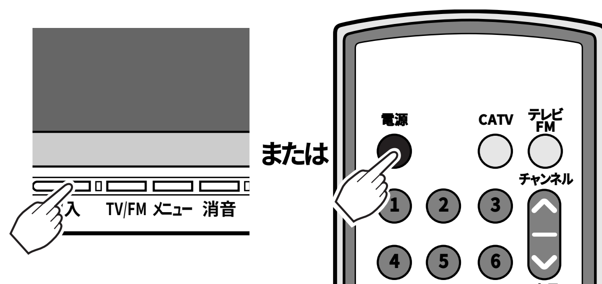


FM放送をきく

●誤った使い方は事故や故障の原因になります。注意事項をお読みいただき正しくお使いください。
●受信チャンネルの設定については、→P.25をご覧ください。

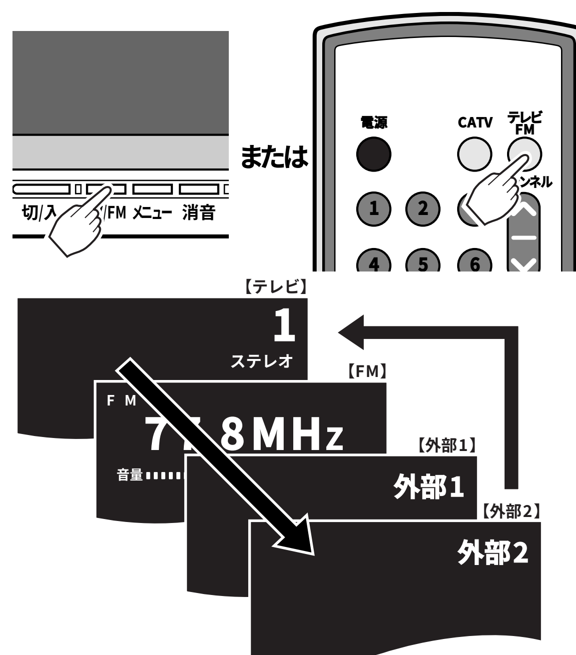
FM放送をきく

1 電源を入れる



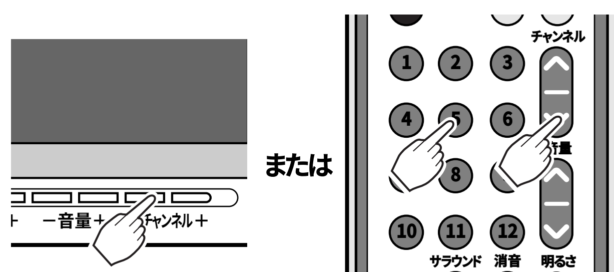
2 テレビ/FMボタンを押し、「FM」を選ぶ

押すたびに「テレビ」「FM放送」「外部1」「外部2」に切り換わります。FM画面のときは必要ありません。



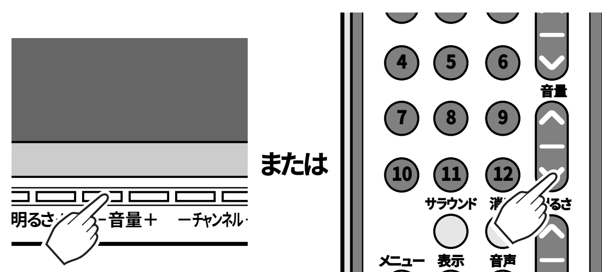
3 チャンネルを選ぶ

「チャンネル+/−」ボタンは順送りでチャンネルを選べます。
リモコンの「①～⑫」は直接チャンネルを選べます



4 音量を調整する

「+」を押すと大きく、「−」を押すと小さくなります。画面に数字とバーで音量が表示されます。





※バーが増減します

FM放送をきく

一時的に音を消す（消音）

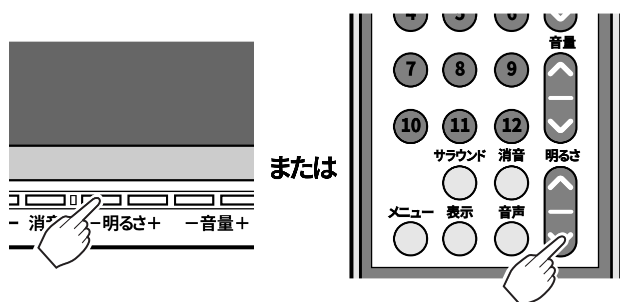
一時的に音を消す（P.13）の操作を行なってください。

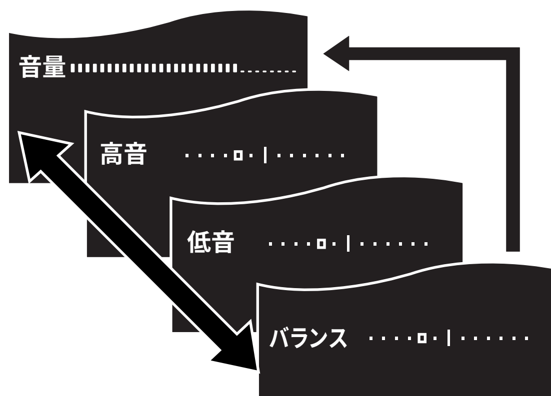
音質を調整する

お好みにあわせて簡単に音質が調整できます。

1 電源を入れる

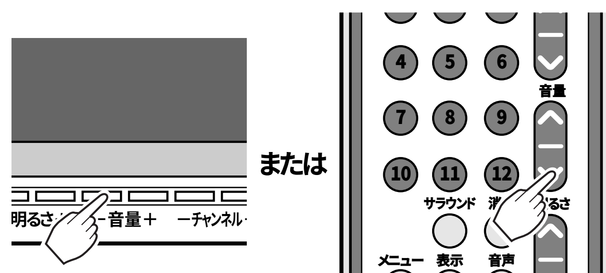
「+」「−」を押すと、音量⇔高音⇔低音⇔バランスと調整項目が選択できます。（選択項目が緑色に変わります。）約10秒間操作なしで音量に戻ります。

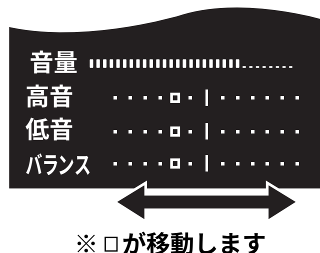




2 音質などを調整する

「+」「−」を押すと、選択した項目の調整ができます。約10秒間操作なしで音量に戻ります。





※ □が移動します

※オプションのケーブルでバスオーディオと接続されている場合には、その出力の音質は上記操作に関係なく一定です。また、サラウンド機能、高音／低音調整機能などには対応しておりません。

使い方 FM放送をきく

おしらせ

- チャンネル＋/－ボタンでは受信設定していないチャンネルはスキップします。
- リモコンの①～⑫ボタンで受信設定していないチャンネルを選択した場合は、「このチャンネルは設定されていません。」の表示がでます。
- 電源を切ってもチャンネルや音量などは記憶しています。
- テレビの音量/音質とFMの音量/音質は個別に設定可能です。それぞれお好みに合わせて調整してください。
- リモコンはテレビ本体のリモコン受光部に向けて操作してください。リモコンの向きが悪かったり発信部/受光部が汚れている場合には、うまく作動しないことがあります。
- オプションのケーブルでバスオーディオと接続されている場合、その出力は音量調整の操作に関係なく一定です。
- FM放送はテレビのVHFアンテナを利用して受信します。受信感度が悪い場合や、UHF専用地域の場合、別途FMアンテナを設置する必要があります。
- FM放送は本製品内のテレビチューナーに付属している機能を利用して受信しており、他のラジオ製品と比較して、受信状態に差が生じることがあります。
- CATV（ケーブルテレビ）およびマンション供聴システムなどではFMを受信できない場合があります。詳しくはCATV会社もしくはマンションの管理業者様にご確認ください。
- テレビアンテナの配線方法によっては、FM放送をカットするフィルタが入っている場合があり、FM放送を受信できないことがあります。この場合、FM放送を受信するには別途FMアンテナを設置し、テレビ信号と混合して本製品に入力してください。詳しくは販売店にご確認ください。

安全上のご注意

⚠注意



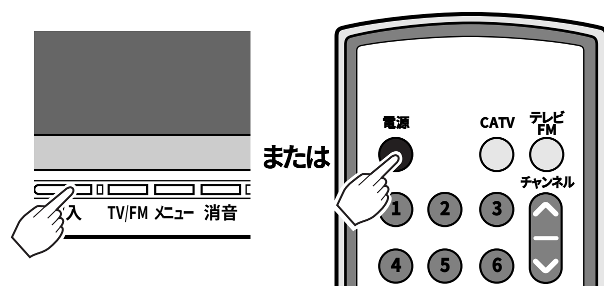
- **テレビからFMに切り換えた時、それぞれの設定によっては音量や音質が急激に変化する場合がありますのでご注意ください。**
  （切り換えた時に突然大きな音が鳴り、聴覚を害する原因となります。）

ビデオ、DVD、地上デジタル放送等を見る

●誤った使い方は事故や故障の原因になります。注意事項をお読みいただき正しくお使いください。
●外部機器をお使いになる場合、機能設定の外部入力がオンになっていることをご確認ください。
機能設定については、→P.30をご覧ください。
●バステレビのリモコンを使って、お使いのビデオ、DVDプレーヤー、地上デジタルチューナー等を操作することができます。その場合、リモコンコードの設定が必要です。リモコンコードの設定については、→P.27をご覧ください。

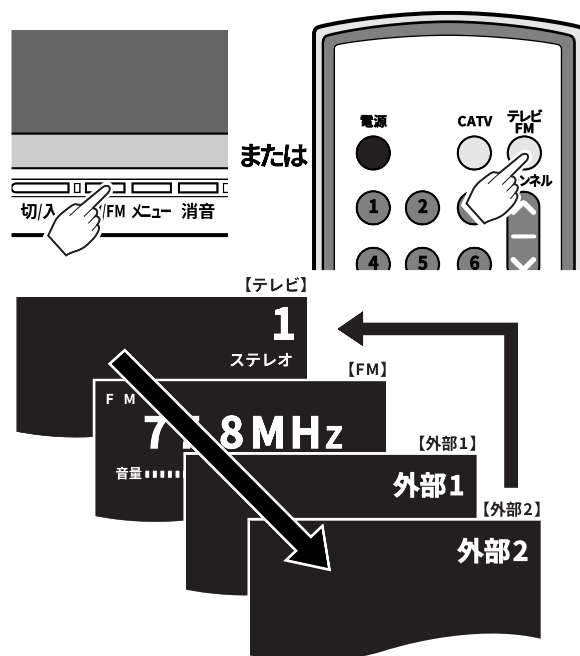
ビデオ、DVD、地上デジタル放送等を見る

1 電源を入れる



2 テレビ/FMボタンを押し、「外部1」または「外部2」を選ぶ

押すたびに「テレビ」「FM放送」「外部1」「外部2」に切り換わります。外部入力画面のときは必要ありません。



3 リモコンの外部機器操作キー「電源」で外部機器の電源を入れる



4 外部機器をリモコンで操作する



5 音量を調整する

「＋」を押すと大きく、「－」を押すと小さくなります。画面に数字とバーで音量が表示されます。



※バーが増減します

一時的に音を消す（消音）

一時的に音を消す（P.13）の操作を行なってください。

●本機でデジタル放送をご覧になるには

市販のデジタルチューナーを接続することによりデジタル放送をご覧頂けます。受信には、デジタル放送に対応したアンテナシステムが必要です。
ハイビジョン番組（アスペクト比16：9）を地上デジタルチューナーで受信時、画面の上下に黒い帯が入ります。また、外部機器の接続はRCAピンケーブルで行ない、D端子による接続はできませんので、標準画質の表示となります。

おしらせ

- ご使用になる外部機器によっては、バステレビのリモコンでは操作できない製品や、特定のボタンが使用できない製品があります。
- DVDの中には、最初にメニュー画面が出るディスクがあります。このようなディスクをご使用になる場合には、入浴前に使用するDVDプレイヤーの付属リモコンで設定してください。
- リモコンコード設定時に外部機器付属のリモコンをお使いになる場合、浴室内が乾燥した状態でお使いください。（外部機器付属のリモコンは、防水でない場合があります。）
- バステレビのリモコンで外部機器を操作する場合、本機の動作時間に外部機器の動作時間がプラスされます。リモコンのボタンを操作してから防水モニターの画面が反応するまで、時間がかかりますが故障ではありません。
- 「外部1」画面表示時には、外部入力1に接続した機器の操作が可能です。「外部2」画面表示時には、外部入力2に接続した機器の操作が可能です。

安全上のご注意

⚠注意


必ず守る

- テレビ・FMから外部入力に切り換えた時、それぞれの設定によっては音量や音質が急激に変化する場合がありますのでご注意ください。
（切り換えた時に突然大きな音が鳴り、聴覚を害する原因となります。）

テレビの受信チャンネルを設定する

●受信設定をする前に‥‥

VHF1～12は工場出荷時に設定済みです。以下の場合に調整してください。

・UHF/CATV放送が受信できる地域
・自分で好きなようにチャンネル設定したい場合

[方法1]オート設定

・**特にお好みがない場合、この「オート設定」が便利です。**
お住まいの地域で受信できる放送チャンネルを探しながら、自動的に記憶します。
記憶可能な受信チャンネル数は最大29です。チャンネル番号13以降に記憶された受信チャンネルは順送りチャンネルボタン「＋」「－」でご覧いただけます。

・**VHF/UHF/CATV混在地区では「オート設定」をすると、チャンネル番号3以降でVHF放送の受信がない番号からUHFやCATVのチャンネルを設定していきます。**
〈例〉VHF1.4とUHF19とCATV20チャンネル放送されている地域では次のように設定されます。

チャンネル番号	1	2	3	4	5	…
受信チャンネル	1	空	19	4	C20	

[方法2]マニュアル設定

オート設定後、次のような変更したい内容がある場合はこの「マニュアル設定」をご利用ください。

①「オート設定」で不要なチャンネル（映像）が記憶されたとき
②「オート設定」で記憶させたいチャンネルが記憶されなかったとき
③お好みで受信チャンネルやチャンネル番号、表示番号の組み合わせを変更したいとき

マニュアル設定可能な項目について

マニュアル設定可能なチャンネル数は最大30で、設定可能な項目は以下の3つです。

・受信チャンネル：受信したい放送局
・チャンネル番号：テレビに記憶させる番号
・表示番号：テレビに表示させる番号
※詳細はP.23の「マニュアル設定する」をご覧ください。

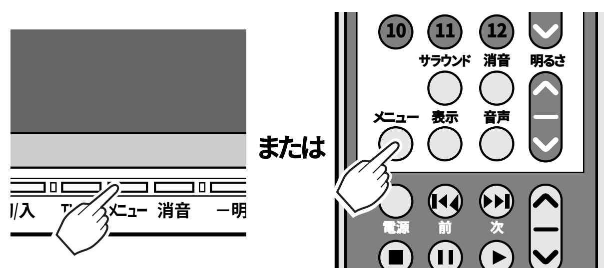
おしらせ

- **「オート設定」では受信可能なチャンネルを前詰で記憶しますので、記憶可能チャンネル数(29)以上の受信可能チャンネルがある場合には最大29チャンネルまでしか記憶されません。記憶チャンネルを変更する場合はP.23の「マニュアル設定する」をご覧ください。**
- **「オート設定」ではテレビ電波やアンテナの状況によって、不要なチャンネル（映像）が記憶される場合や見たいチャンネルが記憶されない場合があります。不要なチャンネルを削除する場合やチャンネルを追加する場合はP.23の「マニュアル設定する」をご覧ください。**

受信チャンネル設定画面を呼び出す

1 メニューボタンを押す

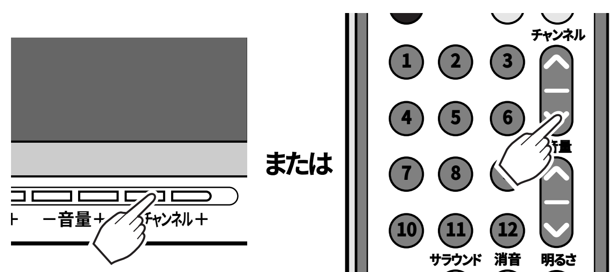
メニュー画面に移ります。



▶ 画像設定
音声設定
機能設定
チャンネル設定
リモコンコード設定

2 チャンネルボタンで「チャンネル設定」を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。「▶」マークを「チャンネル設定」の横に移動させます。

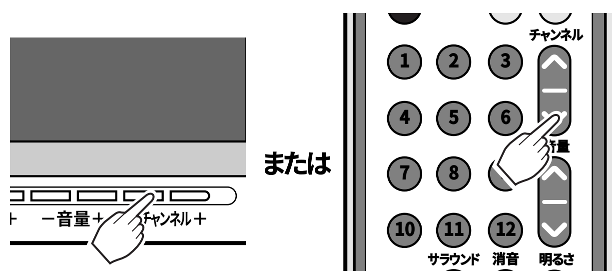


画像設定
音声設定
機能設定
▶ チャンネル設定
リモコンコード設定

オート設定する

1 チャンネルボタンで「テレビオート設定」を選ぶ

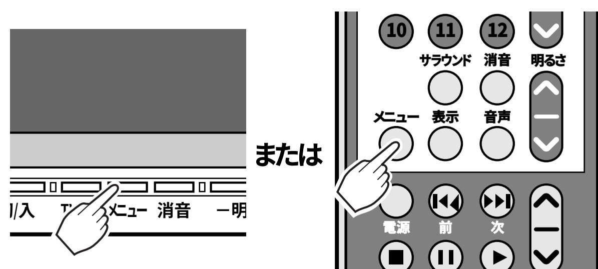
ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。「▶」マークを「テレビオート設定」の横に移動させます。



▶ テレビオート設定
テレビマニュアル設定
FMチャンネル設定

2 メニューボタンを押す

オート設定を開始します。設定終了後は自動でチャンネル設定画面に戻り、受信チャンネル設定完了です。



NO	受信CH	画面表示	受信調整
1	1	1	±0

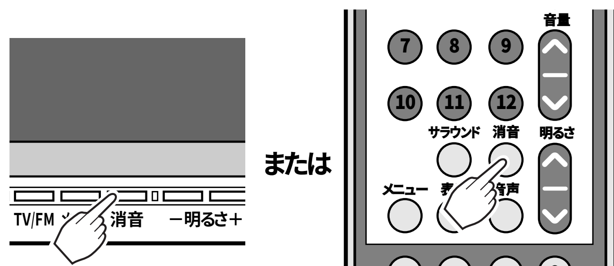
※自動で設定していきます。

テレビの受信チャンネルを設定する

◆オート設定のみでマニュアル設定しない場合は

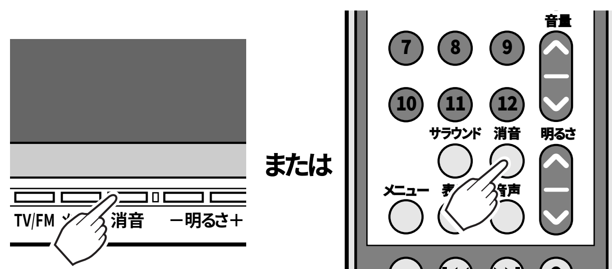
3 消音ボタンを2回押す

押すたびに前の画面に戻ります。





※ 前の画面に戻るには消音ボタンを押す



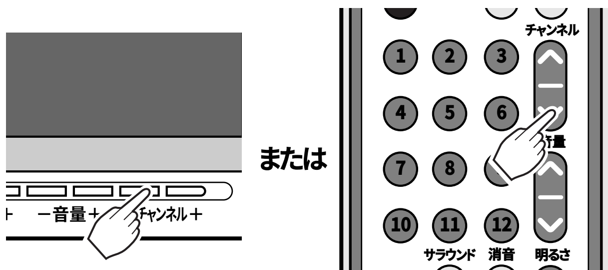
おしらせ

- オート設定中に消音ボタンを押すと、設定作業を中断し途中まで設定した状態でチャンネル設定画面に戻ります。

マニュアル設定する

1 チャンネルボタンで「テレビマニュアル設定」を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。「▶」マークを「テレビマニュアル設定」の横に移動させます。

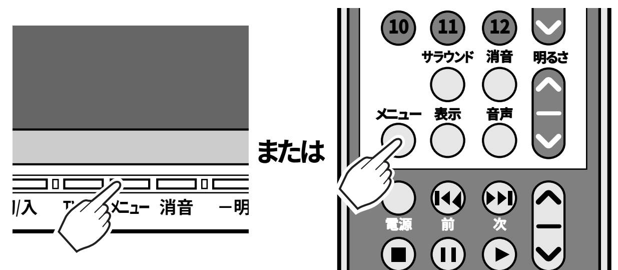


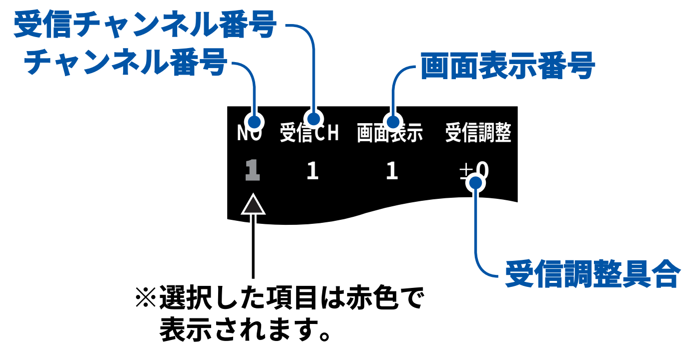
テレビオート設定
▶ テレビマニュアル設定
FMチャンネル設定

2 メニューボタンを押す

マニュアル設定画面に移ります。設定可能な項目は下表の3つと受信調整です。

チャンネル番号	テレビに記憶する番号
受信チャンネル番号	受信する放送局
画面表示番号	画面に表示する番号



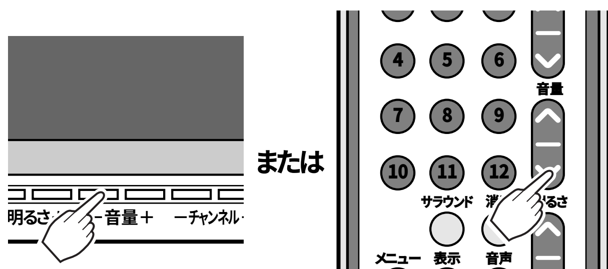


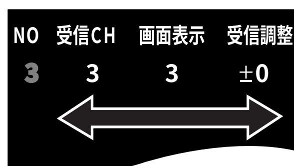
※選択した項目は赤色で表示されます。

◆設定する項目を選ぶ場合は

3 音量ボタンを押す

赤字で表示する項目がNO（チャンネル番号）⇔受信CH（チャンネル）⇔画面表示⇔受信調整と動きますので、設定する項目を選択します。

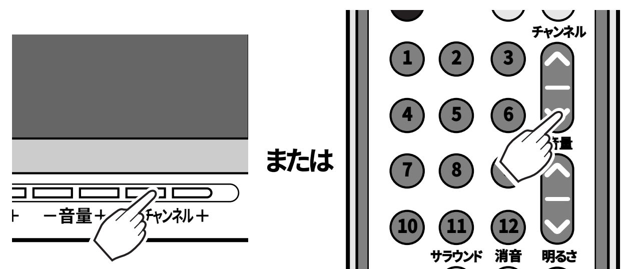


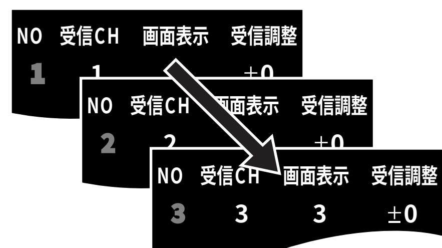


◆選択した項目を変更する場合は

4 チャンネルボタンを押す

赤字で表示する番号が順送りで変化しますので、設定したい番号を選択してください。



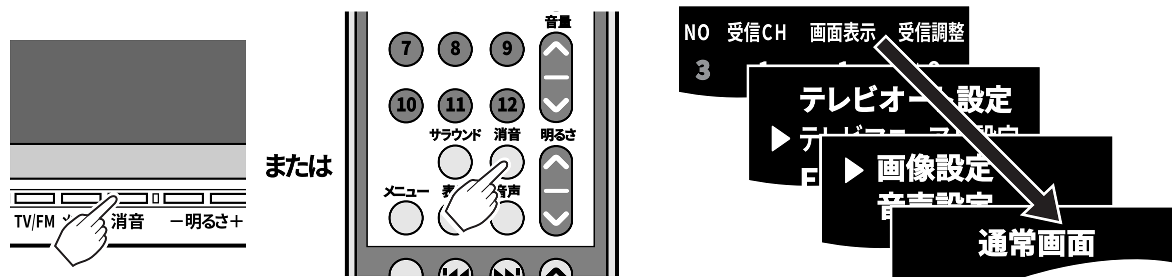


テレビの受信チャンネルを設定する

◆マニュアル設定を終了する場合は

5 消音ボタンを3回押す

押すたびに前の画面に戻ります。



おしらせ

- 音量ボタン、チャンネルボタンは押しつづけると早送りします。
- チャンネル番号は1～30まで設定できます。画面には現在設定中の映像が映ります。
- 受信チャンネル番号は1～62⇔C13～C63⇔－－（スキップ）⇔1～と変わります。画面には受信チャンネル映像が映ります。
- 画面表示番号は1～62⇔C13～C63⇔1～と変わります。
- オート設定で記憶された不要なチャンネルを削除するには、受信チャンネルを－－（スキップ）に設定してください。
- 受信チャンネル番号でスキップを選択した場合、画面表示番号および受信調整は設定できません。
- 設定を途中でキャンセルすることはできません。もとの状態に戻すには変更したところを再度変更してください。
- 受信調整（－15～＋15）は増減させることで受信状態を調整することができるものです。電波状態などで微調整が必要な場合にご使用ください。
- CATV（ケーブルテレビ）を受信する場合、周波数が変更されている場合があります。詳しくはCATV会社にご確認ください。

FM放送の受信チャンネルを設定する

●受信設定をする前に‥‥

FM放送の受信チャンネル（最大12チャンネル）を設定します。工場出荷時にはF1～12に76.0MHz～87.0MHzが仮設定されています。地域の放送局にあわせ、以下の方法で変更してください。
※各放送局の周波数は新聞のラジオ欄に記載されていますので、ご覧になると便利です

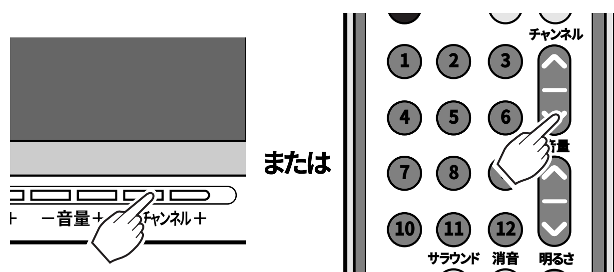
受信チャンネル設定画面を呼び出す

受信チャンネル設定操作（P.21）の操作を行なってください。

FM放送の受信チャンネルを設定する

1 チャンネルボタンで「FMチャンネル設定」を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。「▶」マークを「FMチャンネル設定」の横に移動させます。

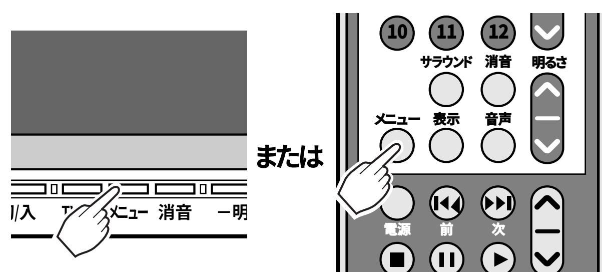


テレビオート設定
テレビマニュアル設定
▶ FMチャンネル設定

2 メニューボタンを押す

FMチャンネル設定画面に移ります。

チャンネル番号	テレビに記憶する番号
受信チャンネル番号	受信する放送局



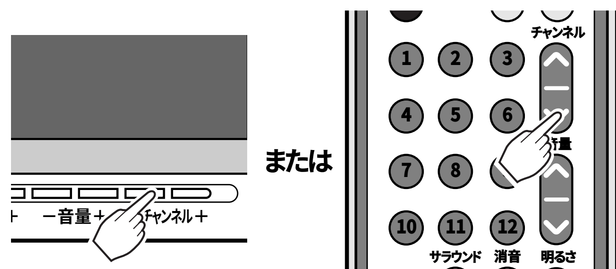
チャンネル番号
受信周波数
NO　受信CH　受信調整
F 1　76.0　0
F 2　76.0
受信調整具合
※選択した項目は赤色で表示されます。

FM放送の受信チャンネルを設定する

◆設定するチャンネルを選ぶ場合は

3 チャンネルボタンを押す

押すたびに赤字で表示する項目が上下しますので設定するチャンネル番号を選択してください。

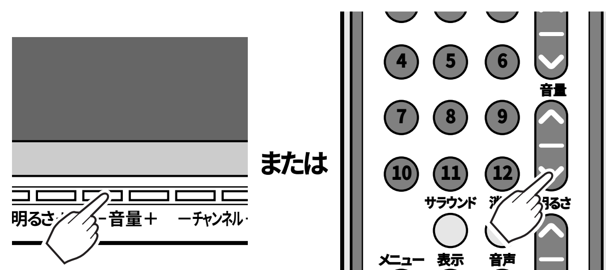


NO	受信CH	受信調整
F 1	76.0	0
F 2	77.0	0

◆選択したチャンネルの周波数を変更する場合は

4 音量ボタンを押す

「＋」「－」を一回押すたびに0.1単位で周波数が増減します。押しつづけると早送りします。新聞のラジオ欄などを参考に放送局の周波数にあわせてください。

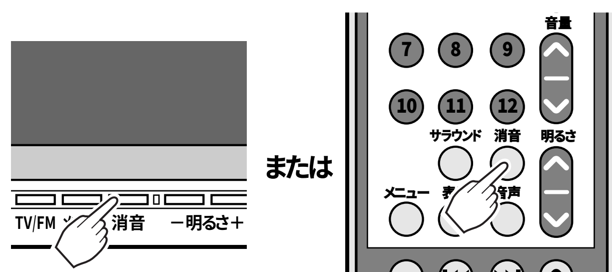


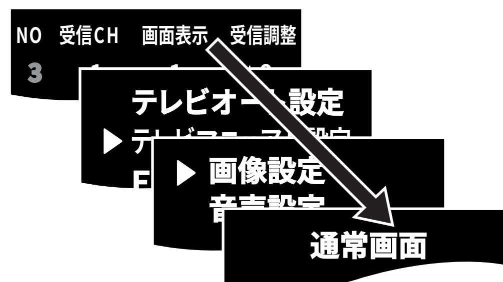
NO	受信CH	受信調整
F 1	76.0	0
F 2	77.0	0

◆FM放送受信チャンネルの設定を終了する場合は

5 消音ボタンを3回押す

押すたびに前の画面に戻ります。





おしらせ

- 音量ボタン、チャンネルボタンは押しつづけると早送りします。
- 周波数は76.0～90.0⇔－－（スキップ）⇔76.0～と変わります。
- 不要なチャンネルを削除するには、受信チャンネルを－－（スキップ）に設定してください。
- 設定を途中でキャンセルすることはできません。もとの状態に戻すには変更したところを再度もとの値に変更してください。
- 受信チャンネル番号でスキップを選択した場合、受信調整は設定できません。
- 受信調整（0～5）は増減させることで受信状態を調整することができるものです。電波状態などで微調整が必要な場合にご使用ください。
- 電波状態によっては、一度設定したチャンネルが受信できたりできなかったりすることがあります。この場合は、受信調整によって改善される場合がありますので、最適の位置に調整してください。

リモコンコードを設定する

バステレビのリモコンを使って、お使いのビデオ、DVDプレーヤー、地上デジタルチューナー等を操作することができます。ビデオ、DVDプレーヤー、地上デジタルチューナー等をご覧になる場合は、→P.18をご覧ください。

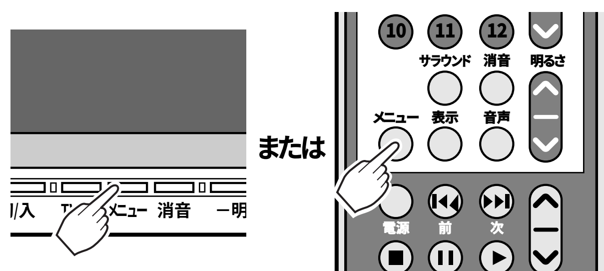
●リモコンコードを設定する前に････

お使いの外部機器に付属のリモコンをご用意ください。

リモコンコード設定画面を呼び出す

1 メニューボタンを押す

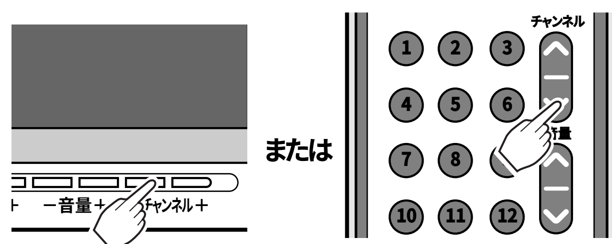
メニュー画面に移ります。



▶ 画像設定
音声設定
機能設定
チャンネル設定
リモコンコード設定

2 チャンネルボタンで「リモコンコード設定」を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。「▶」マークを「リモコンコード設定」の横に移動させます。



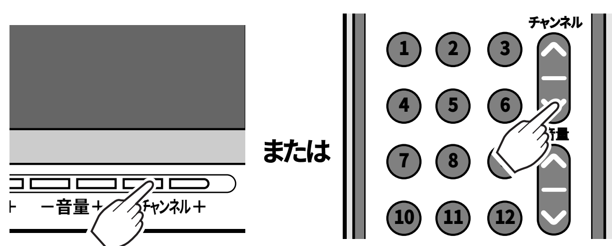
画像設定
音声設定
機能設定
チャンネル設定
▶ リモコンコード設定

リモコンコードを設定する

1 チャンネルボタンで「外部入力1 リモコンコード設定」か「外部入力2 リモコンコード設定」を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。「▶」マークを設定したい項目の横に移動させます。

※外部1の場合は「外部入力1 リモコンコード設定」の設定内容が有効になり、外部2の場合は「外部入力2 リモコンコード設定」の設定内容が有効となります。

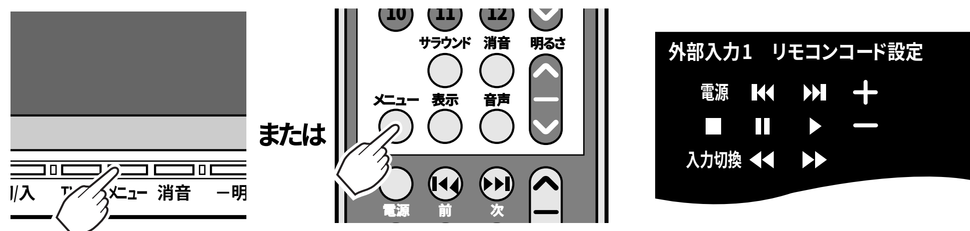


▶ 外部入力1　リモコンコード設定
外部入力1　設定解除
外部入力2　リモコンコード設定
外部入力2　設定解除

リモコンコードを設定する

2 メニューボタンを押す

リモコンコード設定画面に移ります。



3 チャンネルボタンで、設定するリモコンのボタンを選ぶ。

設定するボタンの表示が点滅します。

バステレビのリモコンのどのボタンを設定するかを選びます。

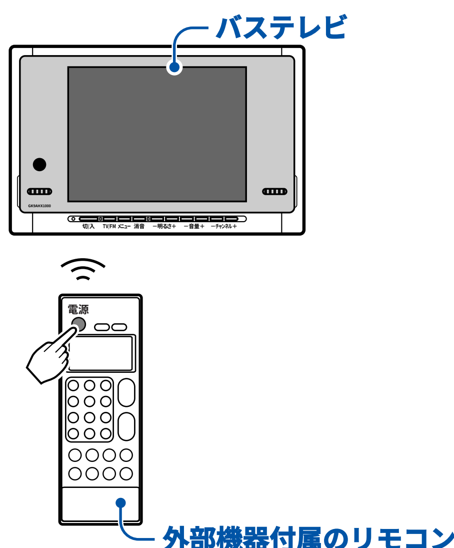






外部機器操作ボタン

4 登録する外部機器（ビデオ、DVDプレーヤー、地上デジタルチューナー等）付属のリモコンをモニターに向け、リモコン登録する外部機器のリモコンのボタンを押す。



- 正常に設定されると、表示の色が緑→黄に変わります。設定された外部機器のリモコンコードは、外部機器コントローラーのLED部から出力されます。
- 設定できなかった場合は、「設定できません」の表示が出ます。
- 設定されたボタンを選んでメニューキーを押すと、設定を解除できます。（表示の色が黄→緑に変わります）

※外部機器付属のリモコンは、できるだけモニターの受光部に近づけて下さい。

※モニターに強い光が当たっている場合は、設定できない場合があります。

※設定後に外部機器が動作しない場合、再度設定し直す事で動作する場合があります。

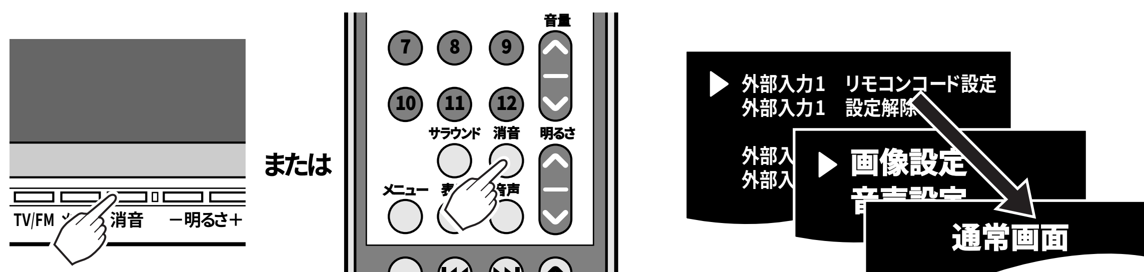
※「外部入力1 リモコンコード設定画面」と「外部入力2 リモコンコード設定画面」では、異なるリモコンコードを設定できますが、同じ画面で複数の機器のリモコンコードを登録することはできません。

※ボタンは全て登録する必要はありません。お使いになる機器にあわせて、登録するボタンを選んでください。

◆リモコンコード設定を終了する場合は

5 消音ボタンを3回押す

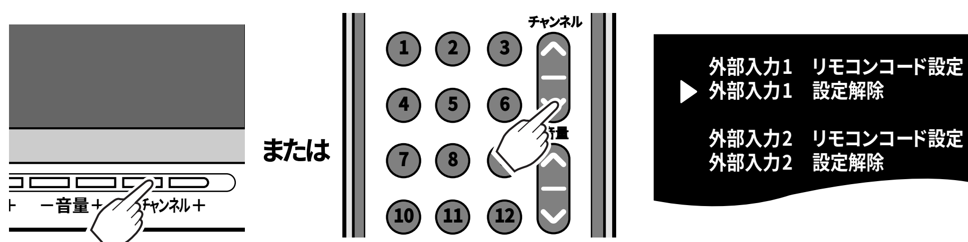
押すたびに前の画面に戻ります。



◆リモコンコード設定を解除する場合は

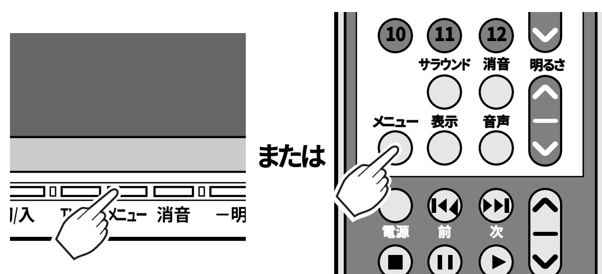
6 チャンネルボタンで「外部入力１ 設定解除」か「外部入力２ 設定解除」を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。
「▶」マークを設定したい項目の横に移動させます。



7 メニューボタンを押す

リモコンコード設定解除画面に移ります。



外部入力1
リモコンコード設定を
解除しますか？
設定解除 ▶メニュー
戻る ▶消音

8 メニューボタンを押す

設定されたリモコンコードを解除し、リモコンコード設定画面に戻ります。

設定を解除しました。

おしらせ

- リモコンコード設定時に外部機器付属のリモコンをお使いになる場合、浴室内が乾燥した状態でお使いください。（外部機器付属のリモコンは、防水でない場合があります。）

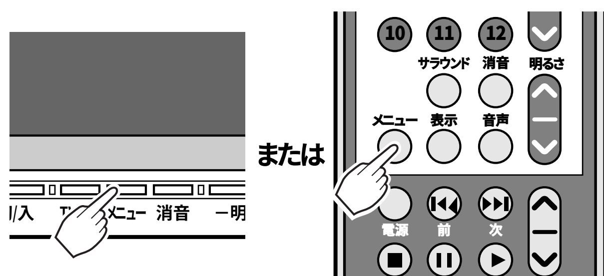
その他の調整をする

メニュー画面よりお好みに合わせてテレビの画質や音声、チャンネル表示切り換え、オフタイマー時間、バックライト明るさ、キー入力音、サラウンド、外部入力の設定を調整できます。
詳しくはP.32の「調整できる項目一覧」をご覧ください。

共通しておこなう作業

1 メニューボタンを押す

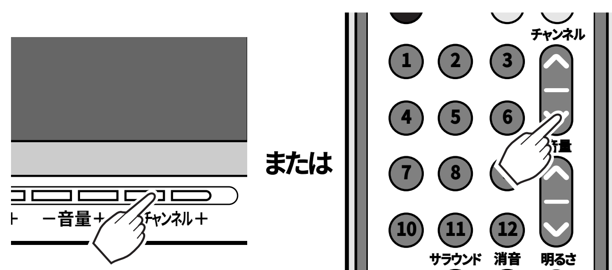
メニュー画面に移ります。



▶ 画像設定
音声設定
機能設定
チャンネル設定
リモコンコード設定

2 チャンネルボタンで設定項目を選ぶ

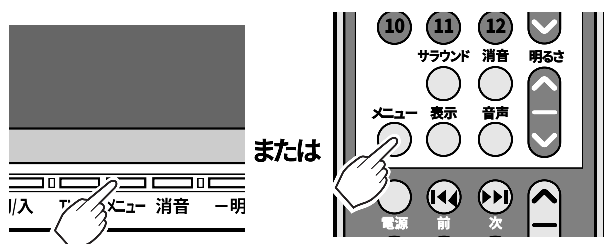
ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。
「▶」マークを設定する項目の横に移動させます。



▶ 画像設定
音声設定
機能設定
チャンネル設定
リモコンコード設定

3 メニューボタンを押す

各設定の調整項目画面に移ります。



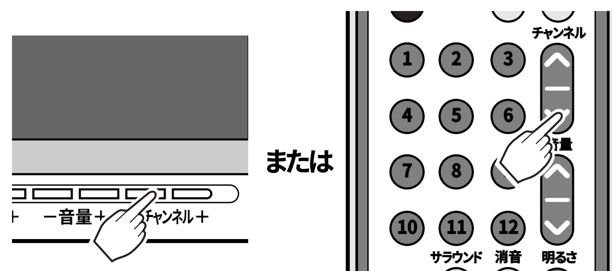
▶ チャンネル表示オン
オフ
バッ

▶ 高音
低音
バラ
ステ
音声

明るさ
コントラスト
▶ 色あい
色の濃さ

4 チャンネルボタンで調整する項目を選ぶ

ボタンを押すたびに「▶」マークが移動します。
「▶」マークを設定する項目の横に移動させます。

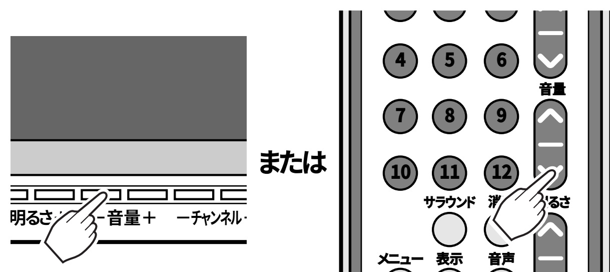


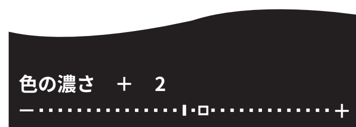
▶ 明るさ
コントラスト
色あい
色の濃さ

5 音量ボタンを押す

「＋」「－」を押すと、選択した項目の調整画面が出て、調整ができます。

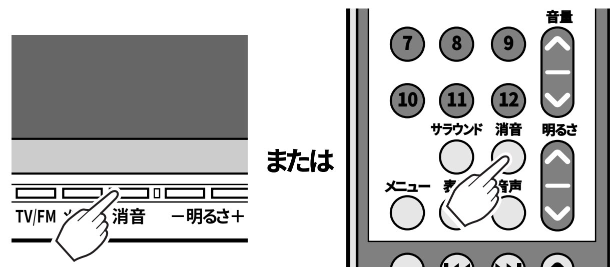
※□と数字が現在値をあらわします。
※機能設定ではバック画面は切り換わりません。





※バーが増減します

※ 前の画面に戻るには消音ボタンを押す



おしらせ

- 約60秒間操作なしで通常の画面に戻ります。
- 調整画面では約4秒間操作なしで調整項目画面に戻ります。
- 調整画面ではチャンネルボタンを押すと調整項目画面に戻ります。
- 機能設定では調整項目画面での切り換えになります。詳しくはP.32をご覧ください。

その他の調整をする

調整できる項目一覧

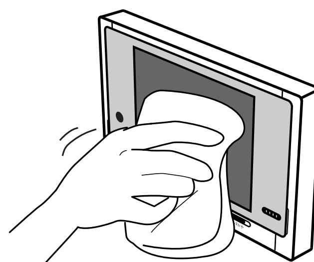
設定項目 ◆共通操作②で選ぶ	調整項目 ◆共通操作④で選ぶ	調整内容 ◆共通操作⑤で選ぶ	工場出荷時の設定
画像設定	明るさ	暗く⇔明るく	中間
	コントラスト	弱く⇔強く	中間
	色あい	赤く⇔緑	中間
	色の濃さ	薄く⇔濃く	中間
音声設定	高音	弱く⇔強く	中間
	低音	弱く⇔強く	中間
	バランス	左寄り⇔右寄り	中間
	ステレオ	モノラル/ステレオ切り換え	ステレオ
	音声多重	主音声/副音声/主＋副音声切り換え	主音声
機能設定	チャンネル表示	オン/オフ切り換え	オフ
	オフタイマー設定	オフ～120分、10分単位切り換え	120分
	バックライト	明/暗切り換え	明
	キー入力音	オン/オフ切り換え	オン
	サラウンド	オン/オフ切り換え	オン
	外部入力	オン/オフ切り換え	オフ

おしらせ

- **音声設定のステレオは、テレビのステレオ放送受信時のみ有効です。**
- **音声設定の音声多重は音声多重放送時のみ有効です。**
- **テレビのステレオ放送の雑音やステレオとモノラルの切り換えが気になるときは、音声をモノラルにすると軽減される場合があります。**
- **チャンネル表示をオンにするとテレビ画面右上に常時小さくチャンネルが表示されます。**
- **オフタイマー設定は電源をオンしてから自動的に電源オフするまでの時間の設定です。設定でオフを選択すると自動では電源オフしません。**
- **バックライトは液晶画面全体の明るさを切り換えます。全体的に画面が明るすぎる場合などにご利用ください。**
- **音声設定のステレオ、音声多重はリモコンからも切り換えできます。詳しくはP.14をご覧ください。**
- **機能設定のチャンネル表示はリモコンからも切り換えできます。詳しくはP.14をご覧ください。**
- **機能設定のサラウンドはリモコンからも切り換えできます。詳しくはP.7をご覧ください。**

お手入れのしかた

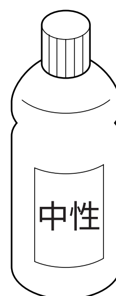
●きれいな画面を保つには



画面を指で触らないのはもちろん、入浴後、毎日やわらかい布で水滴を拭き取り、水あかがつかないようにしておくのが理想的です。

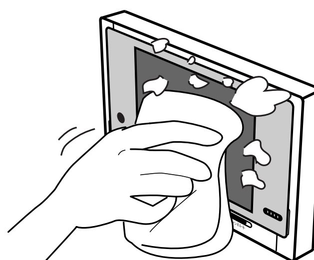
●指紋や水あかがついてしまったら

水でうすめた中性洗剤に布をひたし、固く絞って拭き取り、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。





●石けん、シャンプーや洗剤などがかかってしまったら



軽く絞った布でよく拭き、その後、乾いたやわらかい布で水滴を拭き取ってください。放置すると水あかや石けんカスなどがつき、画面が見にくくなったり変色や変形、故障の原因となります。

使用上のご注意

- お手入れの時に以下のものを使用しないでください。
  （使用すると、テレビ本体を傷める原因となります。）
- ・酸性またはアルカリ性の表示のある洗剤・洗浄剤・漂白剤
- ・クレンザー・みがき粉（粉末や研磨力のあるもの）
- ・薬品（塩酸など）
- ・シンナー・アセトン・灯油など
- ・ナイロンたわし・金属たわし
- ・ナイロン不織布・ナイロンネット付きスポンジ
- ・サンドペーパー
- ・その他、先のとがったもの
- お手入れの際、画面を強く押したり、強くこすったりしないでください。
  （画面に傷がついたり、映像に色むらが出たりして、故障の原因となります。）
- スピーカー部を先のとがったもので清掃しないでください。
  （スピーカーの防水機能が損なわれ、故障の原因となります。）

故障かな？と思った時

現　象	原　因	処　置　方　法
画像が不鮮明、音声に雑音が入る	・アンテナの向きがずれていませんか？ ・山や大きな建物からの反射電波を受けていませんか？ ・高圧線、ネオン、自動車、電車などからの影響をうけていませんか？	アンテナの向き、角度、位置、方向などを調整すると改善される場合があります。お近くの電気店にご相談ください。 （受信部に小型マイクロチューナー搭載しているため、一般のテレビと比べて受信状態に差が生じることがあります。）
画像が尾を引く	本体温度が低くありませんか？	本体温度が上がるともとに戻りますので、しばらくお待ちください。故障ではありません。
画面に斑点や縞模様がでる	他の電気製品から雑音電波が出ていませんか？	雑音電波の原因と思われる電化製品等を離したり電源を切ってください。
画面が明るい	明るさの調整は適切ですか？	お好みの明るさに調整してください。（P.13参照）
画面が暗い	明るさの調整は適切ですか？	お好みの明るさに調整してください。（P.13参照）
	浴室内の気温が低くないですか？	本体温度が上がるともとに戻りますので、しばらくお待ちください。故障ではありません。
音が急に小さくなる	スピーカー部の穴に水滴が溜まっていませんか？ ※スピーカー部にシャワーなどをかけると発生します。	布で水滴を拭き取るか、強く息を吹きかけて水滴を飛ばしてください。故障ではありません。 ※穴に先のとがったものは差し込まないでください。
電源が入らない	停電ではありませんか？	停電復帰をお待ちください。
	ブレーカーは入っていますか？	ブレーカーを入れてください。
リモコンが操作できない	電池は入っていますか？	電池を入れてください。（P.4参照）
	電池が古くありませんか？	電池を交換してください。（P.4参照）
	電池の向きが間違っていませんか？	電池を正しい向きに入れてください。（P.4参照）
	リモコンをテレビ本体に向けて操作していますか？	テレビ本体に向けて操作してください。
	リモコン発信部やテレビ本体のリモコン受光部が汚れていませんか？	お手入れのしかた（P.33）を参照してお手入れを行なってください。
テレビをつけたが、時間がたつとひとりでに消える	オフタイマーの設定により自動電源オフされていませんか？	お好みのオフタイマー設定に調整してください。（P.30参照）
外部機器が操作できない	外部入力の設定がオフになっていませんか？	機能設定で外部入力をオンにしてください。（P.30参照）
FMが受信できない。 音声に雑音が入る。	・VHFアンテナが設置されていますか？ ・アンテナ設備にFM放送を除去するフィルタが入っていませんか？	別途FM（もしくはVHF）アンテナを設置してください。
	CATV（ケーブルテレビ）もしくはマンションの共聴システムを使っていて、FM放送がカットされていませんか？	別途FM（もしくはVHF）アンテナを設置してください。

仕　様

項　目	仕　様
外形寸法（mm）	本体：W355×H228×D32、電源・チューナーボックス：W240×H162×D60
定格電圧・周波数	AC100V　50/60Hz共用（本体DC12V）
定格消費電力	16W
待機時消費電力	0.9W
質量	本体　約1700g　電源ボックス約1400g
使用温度	0℃～50℃
受信チャンネル	VHF：1～12、UHF:13～62、CATV：C13～C63、FM：76.0～90.0MHz
画面サイズ（mm）	10.4型（211.2×158.4）
表示方式	透過型ＴＮ液晶パネル
駆動方式	TFTアクティブマトリクス方式
画素数	307,200画素（縦480×横640）
音声出力	ステレオ、モノラル、音声多重
スピーカー	φ40×2
受信方式	NTSC方式(国内専用)
アンテナ入力	同軸（75Ω）　端末処理F型プラグ
その他機能	サラウンド対応、切り忘れ防止タイマー（オフタイマー）
付属品（同梱品）	リモコン（1個）、リモコンホルダー（1個）、電池（1個）、取扱説明書 外部機器コントローラー（1個）、両面テープ（2枚）

おしらせ

- **バステレビに使用している液晶パネルは、非常に高度な技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。**
- **地上デジタル放送やBS・CS放送等のチューナーは内蔵していません。地上デジタル放送やBS・CS放送を視聴するには、別途チューナーおよび接続のための先行配線工事が必要です。**
- **CATV(ケーブルテレビ）では、FMラジオが受信できない場合があります。また、受信には専用の受信機が必要な場合があります。その際には本テレビでは受信できませんのでご了承ください。詳しくは各CATV運営会社へお問い合わせください。**
- **FM放送はテレビのVHFアンテナを利用して受信します。受信感度が悪い場合、別途FMアンテナを設置する必要があります。**
- **FM放送は本製品内のテレビチューナーに付属している機能を利用して受信しており、他のラジオ製品と比較して、受信状態に差が生じることがあります。**
- **バステレビに内蔵しているチューナーは、地上デジタル放送への完全移行（2011年7月予定）に伴う地上アナログ放送の終了後は、受信できなくなります。（CATVでは2011年7月以降も受信できる可能性があります。詳しくはCATV会社にご確認ください。）**

保証とアフターサービス（よくお読みください）

アフターサービスについて

アフターサービスについては、お買い上げの販売店・工事店または松下電工修理ご相談センターへお問い合わせください。保証規定に基づき対応させていただきます。
また、消耗品等部品のご注文、ご相談は、「ハイ・パーツショップ」へお問い合わせください。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このバステレビの補修用性能部品を製造打ち切り後最低7年間保有しています。
注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。一部代替品での供給を行う場合があります。また、個々の組み込み機器の保証書または取扱説明書に記載されている場合は、それに従います。

保証期間

お引き渡し後1年間です。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後は、有料修理となります。
（修理料金：部品代+技術料+出張料）

修理をご依頼の際、連絡していただきたい内容

・お名前、おところ、お電話番号
・商品名（本書表紙に記載）、品番
・お引渡し年月日
・不具合箇所、不具合内容（詳しく）

松下電工お客様ご相談窓口のご案内

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、お買い求めの販売店・工事店または下記窓口へお申し付けください。

修理のご相談　「修理ご相談センター」

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-365（ハイ 365日）

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【365日／受付9時～20時】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

大　阪☎06－6906－1090　〒571-8686　大阪府門真市門真1048　松下電工テクノサービス（株）
札　幌☎011－261－6401㊫　名古屋☎052－551－7900㊫
東　京☎03－5392－7190㊫　福　岡☎092－622－0531㊫

消耗品・交換部品・オプション部品のご購入　「ハイ・パーツショップ」

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-081-802（ハイ パーツ）

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。
【受付時間　月～金:9:00～19:00　土・日・祝:9:00～17:00】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

ホームページ　http://www.sumu2.com/shop/parts/

○東日本　ハイ・パーツショップ
TEL　03－5392－7189
〒174-0041　東京都板橋区舟渡1丁目12番11号ヘリオスⅡ2階
松下電工テクノサービス（株）東部支社

○西日本　ハイ・パーツショップ
TEL　06－6906－1224
〒571-8686　大阪府門真市門真1048
松下電工テクノサービス（株）近畿支社

使いかた・お買い物などのご相談　「ナショナル パナソニック　お客様ご相談センター」

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

【365日／受付9時～20時】
ただし、携帯電話・PHS等は下記の電話番号へおかけください。

TEL　06－6907－1187　　FAX フリーダイヤル 0120－878－236

ご注意　所在地、電話番号、受付時間などが変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
㊫印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

松下電工株式会社および松下電工グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記のとおり、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社商品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
   なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

松下電工株式会社
松下電工バス＆ライフ株式会社
〒571-8686 大阪府門真市門真1048　TEL 06-6907-1126（代表）　GVN1210　05.06